

平成30年7月
豪雨関連

平成30年9月14日
大臣官房技術調査課
水管理・国土保全局河川環境課
道路局企画課
鉄道局施設課

JR山陽線の全線開通と鉄道貨物の輸送再開について

～関連する事業との連携により運転再開時期が約2ヶ月前倒しされ9月30日となりました～
～これにより、JR山陽線は全線開通し、山陽線全線での鉄道貨物の輸送も再開されます～

平成30年7月豪雨で被災したJR山陽線では、鉄道事業者（JR西日本）が実施する災害復旧工事の実施に当たって、並行する沼田川及び県道33号の管理者である広島県をはじめとした関係自治体と連携・調整することにより、運転再開時期が約2ヶ月前倒しされ9月30日となりました。これにより山陽線は全線で復旧し、鉄道貨物の輸送も再開されます。

国土交通省は、通勤・通学等地域の足としての役割を担う鉄道の復旧が早期に図られるよう、鉄道事業者と国土交通省の関係部局をメンバーとする連絡調整会議を開催し、このような事業間調整等、必要な支援や協力を行っています。

○被災路線の運転再開時期の前倒し（※連携事業の内容）

・JR山陽線（三原・白市間）当初11月中 → 9月30日（約2ヶ月前倒し）

※JR山陽線の復旧工事が優先的に進められるように工程を調整し、県道33号の敷地をJR西日本が山陽線復旧のための工事用道路と作業ヤードとして使用。

※工事用道路と作業ヤードの構築にあたっては、河川敷地及び河床の堆積土の一部を利用。

※河川に係る許認可について、弾力的な運用により、速やかに（7月18日より）工事用道路の構築に着手。

○連絡調整会議について

平成30年7月豪雨災害により被災した鉄道の復旧に関する連絡調整会議

【メンバー】

鉄道事業者

JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州の担当部長等

国土交通省

大臣官房、水管理・国土保全局、道路局、鉄道局の担当課長等

【検討対象路線】

山陽線、呉線、芸備線、高山線、予讃線、筑豊線等

【検討事項】

・鉄道の復旧工事と関連する河川・道路の復旧工事の工程等の共有

・鉄道の復旧時期の前倒しに向けた関連事業との連携・調整方法等の検討・確認

【開催状況等】

・8月10日（金）：第一回会議

・8月21日（火）：路線ごとの打ち合わせ（JR西日本）

・8月22日（水）：「JR呉線や山陽線の運転再開時期の前倒しについて」を公表

・8月24日（金）：路線ごとの打ち合わせ（JR四国）

・8月27日（月）：「JR予讃線の運転再開時期の前倒しについて」を公表

・9月12日（水）：路線ごとの打ちあわせ（JR西日本）



○引き続き、被災路線の運転再開が1日でも早く実現するよう、鉄道事業者と連携・調整を図って参ります。

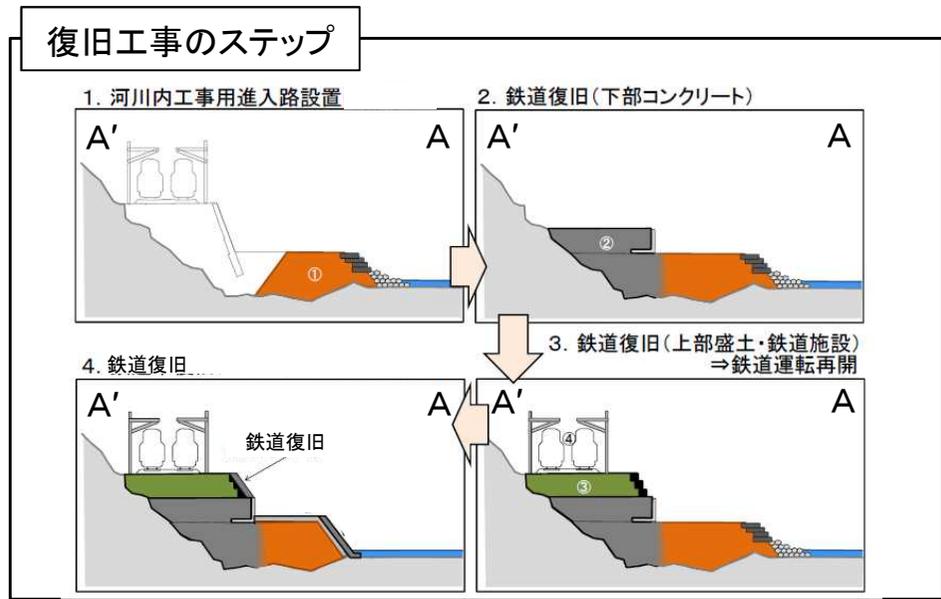
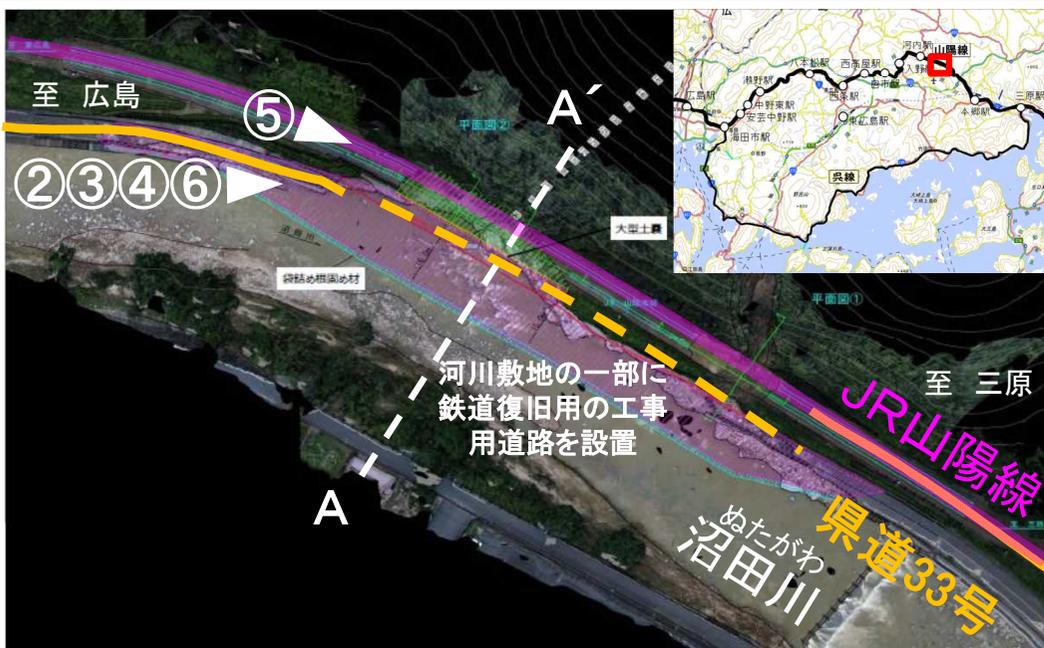
【問い合わせ先】

国土交通省 鉄道局 施設課 青山・河原

電話：03-5253-8111（内線：40-802/40-863） 直通：03-5253-8553 FAX：03-5253-1634

○ 並行する沼田川及び県道33号の管理者である広島県をはじめとした関係自治体との連携・調整等により、JR山陽線(三原・白市間)の運転再開時期の前倒し(当初11月中→9月30日)を実現。これにより、山陽線は全線開通し、山陽線全線での鉄道貨物の輸送も再開。

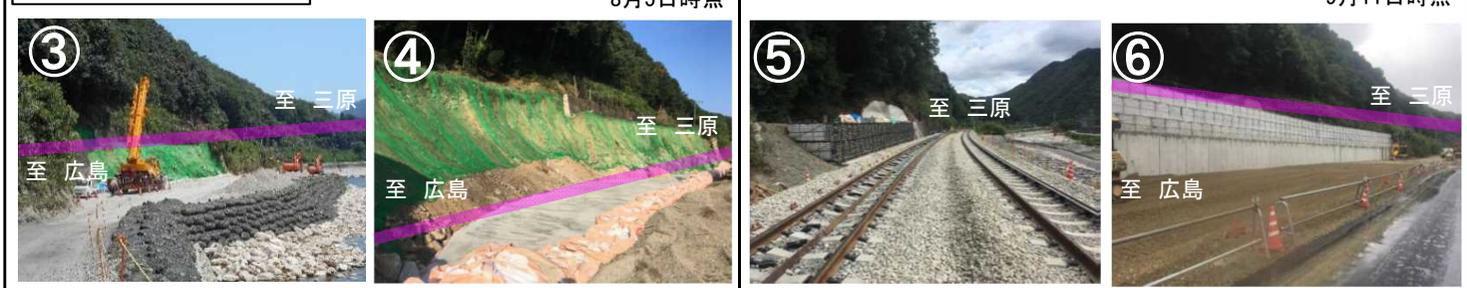
- JR山陽線の復旧工事が優先的に進められるように工程を調整し、県道33号の敷地をJR西日本が山陽線復旧のための工事用道路と作業ヤードとして使用。
- 工事用道路と作業ヤードの構築にあたっては、河川敷地及び河床の堆積土の一部を利用。
- 河川に係る許認可について、弾力的な運用により、速やかに(7月18日より)工事用道路の構築に着手。



被災直後



復旧工事の状況



8月5日時点

9月11日時点